

畜犬登録システム導入事業  
基本仕様書

令和6年4月

那覇市 環境部 環境衛生課

## 第1章 総則

### 1. 1 適用

本仕様書（以下「仕様書」という。）は、那覇市（以下「本市」という。）が発注する畜犬登録システム導入事業（以下「本事業」という。）に適用するものとする。

### 1. 2 事業目的

畜犬管理とは「終生飼養」及び「繁殖制限」を基本とした適正飼養の普及啓発、所有者不明犬の引き取り、犬の譲渡事業を行うなど、人と動物が共生し快適に暮らせる社会の実現を目指しています。

現行のシステム機器は平成 22 年 4 月に事業者と共同開発し、現在まで運用しているところですが、鑑札番号や飼い主情報による検索機能はあるものの、その他、新たに必要な情報管理・検索機能が不十分で業務が煩雑になってきており、時間を要しています。

また、令和 3 年度には「法改正」に伴う改修、「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」及び「MicroSoft Edge」への対応ができていない状況です。

新システム導入においては、上記を踏まえ、飼い犬並びに飼い主の情報の入力、参照、帳票作成等の一連の事務作業を効率化することを目的とします。

### 1. 3 業務概要

- （１）畜犬登録システム導入
- （２）現行システム（わんライフ）からのデータ移行
- （３）本システム導入後における保守業務

### 1. 4 準拠する法令等

本事業は、本仕様書によるほか以下の関係法令等に準拠して行うものとする。

- ア 動物の愛護及び管理に関する法律（昭和 48 年法律第 105 号）
- イ 動物の愛護及び管理に関する法律施行例（昭和 50 年政令第 107 号）
- ウ 動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成 18 年環境省令第 1 号）
- エ 動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令 抄（平成元年政令第 152 号）
- オ 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく指定登録機関に関する省令（令和 3 年 4 月 8 日環境省令第 9 号）
- カ 動物の愛護及び管理に関する法律施行（令和 3 年 3 月 26 日規則第 7 号）
- キ 個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）
- キ 那覇市個人情報保護条例（平成 3 年那覇市規則第 21 号）
- ク 那覇市契約規則（平成 26 年那覇市規則第 59 号）
- ケ その他本事業に関係する法令・規則等

## 1. 5 計画書等の提出

受注者は、本作業着手に先立ち速やかに、作業実施計画書、着手届、作業工程表及び管理技術者届を提出して本市の承認を受けるとともに、作業実施期間中は進捗状況を随時報告するものとする。

## 1. 6 作業の打合せ

受注者は、作業実施前及び作業期間中は、本市との打合せを密に行い詳細な点については、緊密な連絡を保ち作業するものとする。また、受注者は、作業の打合せの記録簿を作成し、本市に提出するものとする。

## 1. 7 秘密の保持

受注者は、本事業で知り得た事項を本市の承認を得ずに他に漏らしてはならない。また、この取り扱いは、契約期間の満了又は解約により契約が終了した後も同様とする。

## 1. 8 手続き及び損害賠償

本事業に必要な諸手続きは、受注者の責任において行い、その写しを本市に提出しなければならない。また、本作業実施中に生じた諸事故に対して一切の責任は受注者が負い、発生原因、経過及び被害等の状況を本市に速やかに報告し、指示に従うものとする。

## 1. 9 事業期間及び契約

### (1) 構築期間

契約締結日から令和6年9月30日まで

### (2) 運用期間

本稼働の日から令和11年3月31日まで

### (3) 契約

本事業は、公募型プロポーザルにて選定された受注候補者と随意契約にて締結する。なお、受注候補者が辞退した場合、次点候補者と提案内容の確認を行い、その結果に基づき契約を実施する。

## 1. 10 疑義

本仕様書並びに1.4の法令等に明示なき事項又は疑義を生じた事項については、本市と受注者はその都度協議し、受注者は本市の指示に従うものとする。

## 1. 11 権利の帰属

本事業による成果品の著作権及び所有権は、システムの整備及び構築において使用する市販ソフトウェアの著作権（受注者保有のパッケージソフトウェアの著作権を含む。）を除き、全て本市に帰属するものとする。

## 1. 1 2 個人情報保護

本事業の履行にあたって受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、個人情報を取り扱う際は、個人の権利利益を侵害することのないように務めなければならない。また、受注者は、本事業により知り得た情報については、契約期間中はもちろんのこと、契約期間満了後も第三者に漏らしてはならない。

## 第2章 システム基本要件

### 2. 1 概要

畜犬登録システムは、本市職員が、LGWANネットワークに接続された端末から業務に必要な畜犬管理情報を管理・登録・編集・参照することができるシステムとする。データの更新やデータ共有については、本市各主管課職員（環境衛生課）によって処理可能な仕組みを有するものとし、受注者は、畜犬登録システムの安定稼働を図るために必要なソフトウェア並びにハードウェアの供給と、運用サポートを行うものとする。

### 2. 2 システム要件

畜犬登録システムは、操作性に優れ、かつ、ストレスなく畜犬管理情報を管理・登録・編集・参照が可能である等、動作速度が優れているものとし、以下の要件に基づき構築するものとする。

#### (1) 畜犬登録システム

ア LGWAN-ASP（Application Service Provider）方式とする。

※オンプレミスによる提案も可とする。その際は本市の指定するデータセンター内の19インチサーバラック内に6U、電源5A以内（UPS不要）に収めるものとする。

イ インターネットデータセンターは、日本法人が国内において運営しているデータセンターにて、必要なセキュリティ対策を講じた施設および設備とする。

ウ 本市職員がLGWAN接続端末を利用し、畜犬管理情報を管理・登録・編集できるシステムとする。

エ 本市各主管課職員（環境衛生課）が管理・登録・編集・参照が可能であるものとし、リアルタイムに共有を行うことができるものとする。また、必要に応じて詳細なアクセス権の設定ができるものとする。

オ クラウド提案の場合、アに記載した「LGWAN-ASP」使用することになるためアの内容にクラウドの記載が必要

### 2. 3 利用環境

#### (1) 畜犬登録システム利用条件

ア 対象	LGWAN系ネットワークに接続利用可能なパソコン
イ 同時接続ライセンス	20ライセンス
ウ ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
エ OS（PC）	Windows10、Windows11
オ CPU	Intel Core i5 第8世代以降

## 2. 4 ネットワーク環境

本市のネットワーク環境は次のとおりであり、本環境下での稼働を保証するものとする。

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| (1) LGWAN接続回線            | 100MBを7市町村で共有 |
| (2) データセンター間回線※オンプレミスの場合 | 100Mbps       |
| (3) クライアントPCの接続方法        | 無線LAN/有線LAN   |
| (4) 既存ネットワークの利用プロトコル     | TCP/IP        |

## 第3章 システム構築

### 3. 1 システム設計

システム設計は、システム構築上必要となる以下の内容について整理し、システム設計書として取りまとめ、本市と協議するものとする。

- ア システム構成（制約条件、機能・非機能要件の整理を含む）
- イ システム運用
- ウ その他必要なもの

### 3. 2 システム環境構築

- (1) 受注者は、受注者作業場所においてシステム環境を構築する。構築する内容は次のとおりとする。
  - ア データベース設定
  - イ 試験環境構築
- (2) 環境設定内容については、システム設定書としてその設定内容を取りまとめ、納品するものとする。
- (3) 受注者は試験計画書を作成し、本市の承認を得るものとする。本市が承認した試験計画書に基づき、受注者は動作試験を行うものとする。

### 3. 3 システム導入

- (1) 受注者は、受注者作業場所において構築したシステム環境を運用環境に導入するものとする。
- (2) 受注者は、運用環境において、試験仕様書に基づき動作試験を行うものとする。試験結果については、試験結果報告書として本市へ提出し、承認を得るものとする。

## 第4章 機能要件・運用保守要件

### 4. 1 機能要件・運用保守要件

- (1) 「様式5 機能要件運用保守要件確認書」に記述する機能要件をもとに畜犬登録システムのパッケージソフトウェアを納入すること。
- (2) サービス利用期間中の運用保守については、契約期間中平日8:30～17:15までを基本とし以下の対応を実施すること。なお、インシデント発生時や重要障害発生時などの緊急を要する場合については、24時間365日対応とする。
  - ・製品・システムに対する問合せ対応
  - ・障害発生時の対応
  - ・軽微な設定変更
  - ・セキュリティ対応
  - ・問い合わせ管理

## 第5章 非機能要件

### 5. 1 信頼性

#### (1) システム運用時間

ア 畜犬登録システムは、原則として24時間365日の連続稼働が可能な構成とすること。

イ サービス稼働率は99.0%以上とすること。

サービス稼働率＝（（計画サービス時間－停止時間）÷計画サービス時間）

※計画サービス時間には、システムメンテナンス等の事前計画に基づくサービス停止時間、受注者の責によらないサービス停止時間は除く

ウ やむを得ない事情により、システムの全部又は一部を停止する場合には、2週間前までに本市へ連絡すること。

#### (2) セキュリティ

ア 第三者による不正アクセスや情報改ざんがないよう、必要なセキュリティ措置を講じること。

イ OSのセキュリティパッチ等は、システム構築時の最新版を適用し、最新の状態を保つこと。

ウ 外部からの攻撃や侵入を防ぐためウイルス対策ソフトを導入する等のセキュリティ対策を講じること。

エ インシデント発生又はその発生が疑われる場合にあっては、提供事業者は積極的に原因究明、影響範囲確定等の作業に協力すること。

#### (3) データの保全性

ア 誤操作等による重要データ消去を避けるために必要な対策措置を講じること。

イ データの整合性を確保するため、更新処理においては十分なデータチェックを行うこと。

なお、エラー等により処理が中断された場合には、データの処理実行前の状態に戻すこと。

#### (4) データの機密性

ア 管理者用サイトは、アクセス権限を持つ職員のみが利用できる仕組みとする。

イ 不正アクセス及びシステム障害等について、その原因解明のために必要なアクセスログ等を記録すること。

### 5. 2 教育要件

#### (1) 操作マニュアルの作成

操作マニュアル（職務従事者向け）を作成すること。初心者でも理解しやすいように利用できる機能の説明をわかりやすく記述し、機能毎に操作の手順及び入力方法などを明確に記述すること。特殊な用語を使う必要がある場合は、用語の説明文を用意すること。

#### (2) 管理者マニュアルの作成

本システムに関してシステム管理者が行うべき作業（ユーザ登録・変更・削除、権限設定、及び操作ログ取得・閲覧など）の定義及び運用ツールなどの操作方法について記述すること。障害発生時における必要な対処措置などについても、専門的な知識がなくても理解できるよう、分かりやすい記述で管理者マニュアルに含めること。

#### (3) 操作研修

ア 本システムの本格稼働前に、管理者向け操作研修を実施すること。研修の形態は集合研修とし、実施回数は1回を想定している。

イ 本システムの本格稼働前に、実務職員向け操作研修を実施すること。研修形態は実機を使用した集合研修とし、2日間開催することを想定している。なお必要な機器環境は本市が用立てるものとする。

ウ 年間1回の実務職員向け実機操作研修を行うこと。なお時期については本市との調整の上決定するものとする。

エ 年間1回の管理者向け研修を行うこと。なお時期については年度初めを想定している。

## 第6章 検査及び成果品

### 6. 1 検査

受託事業者は、本仕様書その他機能要件に合致した業務を実施し、検査に合格すること。なお、本事業は、受託事業者が作成し本市が承認した検査書に基づく検査の合格をもって納品及び検査完了とする。

## 6. 2 成果品

提出書類は紙及び電子データ(Excel、Word形式等)とし、原則として次に掲げるとおりとする。但し、これ以外に業務実施上必要なドキュメントは、本市と受託事業者間で協議の上、整備するものとする。

	区分・ドキュメント名	内 容	提出時期
1	業務体制図	構築に関わる業務の体制表	契約後速やかに
2	工程表	構築に関わるスケジュール表	//
3	機器一覧表	導入機器等の一覧表	構築完了時（オンプレミスのみ）
4	要件定義書	初期打合せにより処理内容等の要件をまとめた資料	初期打合せ完了時
5	試験計画書	試験をおこなう項目とスケジュール表	構築完了時
6	試験報告書、完了報告書	構築完了時の試験報告書、及び構築の完了報告書	//
7	システム設計書、運用管理設計書	システム構築に関わる設計書等	//
8	システム構成図	システムの構成図	//
9	進捗管理表(WBS)	構築に関わる進捗管理表	会議開催の都度
10	議事録	打ち合わせの議事録	会議開催後 7 日以内
11	課題管理表	発生した課題の管理表	構築完了時まで都度
12	設定資料	各システムの設定資料	構築完了時
13	管理者マニュアル	各システムの運用説明書、メンテナンス体制表、障害対応手順、担当者連絡表等	//
14	操作マニュアル	実務者向けの利用者用マニュアル	//
15	各種ライセンス書類	ライセンス等書類	//
16	その他	本市が指定する書類	都度